

『は』と『が』の一步進んだ教え方

一橋大学国際教育交流センター教授 庵 功雄

isaoiori@courante.plala.or.jp

<http://www12.plala.or.jp/isaoiori/>

はじめに

- 「は」と「が」は日本語の基本的な構造に関わる
- 「は」と「が」の(機能の)違いを理解することは重要
- 「は」と「が」の違い(使い分け)とは、「は」と「が」がともに主語を表す場合のこと
- 「は」と「が」の違い(使い分け)はとても簡単

「は」と「が」の基本的な違い

- 「は」: 主題 (topic, theme) を表す
- 「が」: 主語 (subject) を表す

「は」の特徴

- 「は」は文の主題を表す
- **主題**: (通常) 文頭にあって、その文が何について述べるかを聞き手(読み手)に伝えるもの
- 文全体から主題を除いた部分を解説(comment, rheme)と言う。
- (1) 田中さんは 学生です。
 - 主題 解説
- (2) 私は 昨日友だちと映画を見た。
 - 主題 解説

「が」の特徴

- 「が」は文の主語を表す
- **主語**: 動作、出来事、存在、状態・性質などの「主(ぬし)」を表すもの
- (3) 太郎**が**本を読んでいる。(動作主: 太郎)
- (4) 昨日駅前**で**火事**が**あった。(出来事の主: 火事)
- (5) 机の上に本**が**ある。(存在の主: 本)
- (6) 花子**は**賢い。(状態の主: 花子)
- (7) 太郎**は**大学生だ。(性質の主: 太郎)
- →状態・性質の主は「は」で表されるのが普通

格枠組み

- **格枠組み** (case frame) :
- 述語 (動詞、イ形容詞、ナ形容詞、名詞+だ) が取る **必須補語 (項)** のパターン
 - 泳ぐ <(人)が>、食べる <(人)が、(もの)を>
 - 割れる <(もの)が>
 - 賢い <(人)が>、親切だ <(人)が>、
 - アメリカ人だ <(人)が>

「は」と「が」の基本的な違い

- 主語でもある「は」と主語ではない「は」
- 無題化: 主題を表す「は」の文から主題を取り除く操作
- (8) 田中さんは この本を書いた。
 - 主題 解説
- (9) 田中さんがこの本を書いたことは 事実だ。
 - 主題 解説
- (8)の「田中さんは」はガ格で「主語」
- →「田中さんは」は主題 & 主語

「は」と「が」の基本的な違い

- 主語でもある「は」と主語ではない「は」
- (8) 田中さんは この本を書いた。(主題、主語)
- (10) この本は 田中さんが書いた。(主題)
- 書く<(人)が、(もの)を>
- 「は」には、主語でもある「は」と主語ではない「は」がある(どちらの場合も「は」は主題を表す)

「は」と「が」の基本的な違い

- 主題が違ふと何が違ふ？
- (12) A: 田中さんは最近どうしてるの？
 - B1: ○ 田中さん **は** この本を書いたんだよ。
 - B2: ? この本 **は** 田中さんが書いたんだよ。
- (13) A: この本は何？
 - B1: ? 田中さん **は** この本を書いたんだよ。
 - B2: ○ この本 **は** 田中さんが書いたんだよ。
- → テキスト上で主題が決まっている場合、その主題に合わせる必要がある
- → 「は」は伝達レベルの助詞、「が」は命題レベルの助詞

「は」と「が」の基本的な違い

- 「は」の機能
- 田中さんがは この本を書いた。（「田中さんが」を主題に）
- 田中さんがは この本を書いた。
- →(8) 田中さんは この本を書いた。
- この本をは 田中さんが書いた。（「この本を」を主題に）
- この本をは 田中さんが書いた。
- →(10) この本は 田中さんが書いた。
- (14) 田中さんがこの本を書いた(こと) ←無題化(命題)
- →「は」は「が」や「を」の機能を兼ねている
- （三上章:「は」の兼務(三上1960)）

「は」と「が」の基本的な違い

- (15) 太郎も見舞いに来た。(「太郎が来た」)
- (16) 私はその本も読んだ。(「その本を読んだ」)
- (17) 私は花子にもそのことを連絡した。
- (18) 花子からも私に連絡があった。
- →とりたて助詞の前では「が」「を」は消えるのが普通
- それ以外の格助詞は消えない
- (8) 田中さんは この本を書いた。(「田中さんが」)
- (10) この本は 田中さんが書いた。(「この本を」)
- (19) 花子には 私が連絡した。
- →「は」はとりたて助詞

「は」と「が」の基本的な違い

	は	が
品詞	とりたて助詞	格助詞
文法的機能	主題	主語
関わるレベル	伝達レベル	命題レベル

「は」と「が」の違いに入る前に

- 主語ではない「が」
- 1)「好きだ、嫌いだ」の目的語
- (20) 太郎は寿司が **好きだ／嫌いだ**。
- 2) 項の増減をともしなわないボイス表現
- (21) 花子はドイツ語 {○が／○を} **話せる**。
- (22) これからはゆっくり読書 {○が／×を} **できる**。
- (23) この本は論理展開 {○が／×を} わかり**やすい**。
- (24) 私は高い音 {○が／？を} 聞き**にくい**。
- (25) おいしい料理 {？が／○を} 作り**たい**。(庵1995)

「は」と「が」の違いに入る前に

- はーが構文:「XはYがZ(だ)」(Zは形容詞が普通)
- 1) Yが省略できないもの
 - (26) 象は鼻が長い。(×象は長い)
 - (27) 太郎は背が高い。(×太郎は高い)
 - →「YがZ(だ)」全体で1つの述語
- 2) Yが省略できるもの
 - (28) この本は内容が面白い。(≡この本は面白い)
 - (29) あのスーパーは野菜が安い。(≠あのスーパーは安い)
 - (30) 田中さんはお父さんが医者だ。(≠田中さんは医者だ)
 - →「Yが」は「X」の1つの側面を表している(高橋1977)
 - →どちらの「Yが」も主語と考える必要はない

「は」と「が」の使い分け

- 必要な区別
- 1) 単文と複文
 - 単文：従属節を含まない文
 - 複文：従属節を含む文
- (33) 雨が止んだので、私たちは出かけた。(複文)
- (34) 太郎は来たが、花子は来なかった。(複文)
- (35) 私が買った本はこれです。(複文)
- → これら以外は単文
- → 主節と従属節の主語が同じ場合は単文と同じ
- → 従属節 vs. 単文 & 主節

「は」と「が」の使い分け

- 2) 従属節の場合
- 主節と従属節(連体修飾節を含む)の主語が同じときは主節の主語と考える
- (31) 田中さんは 部屋に入ると、電気をつけた。
 - 従属節 主節
 - →「田中さん」は従属節の主語 & 主節の主語
 - →「田中さん」は主節の主語と考える
- (32) 田中さんが部屋に入ると、林さんが電気をつけた。
 - 従属節 主節
 - →「田中さん」は従属節(だけ)の主語
 - →「従属節の主語」で考えるのはこのタイプだけ

「は」と「が」の使い分け

- 3) 中立叙述と総記
- 「が」の2つの意味(久野1973)
- <中立叙述>
- (33) 雨が降っている。
- (34) 昨日駅前で火事があった。
- <総記>
- (35) 私が会議に出席します。
- (36) これが正解です。

フローチャート

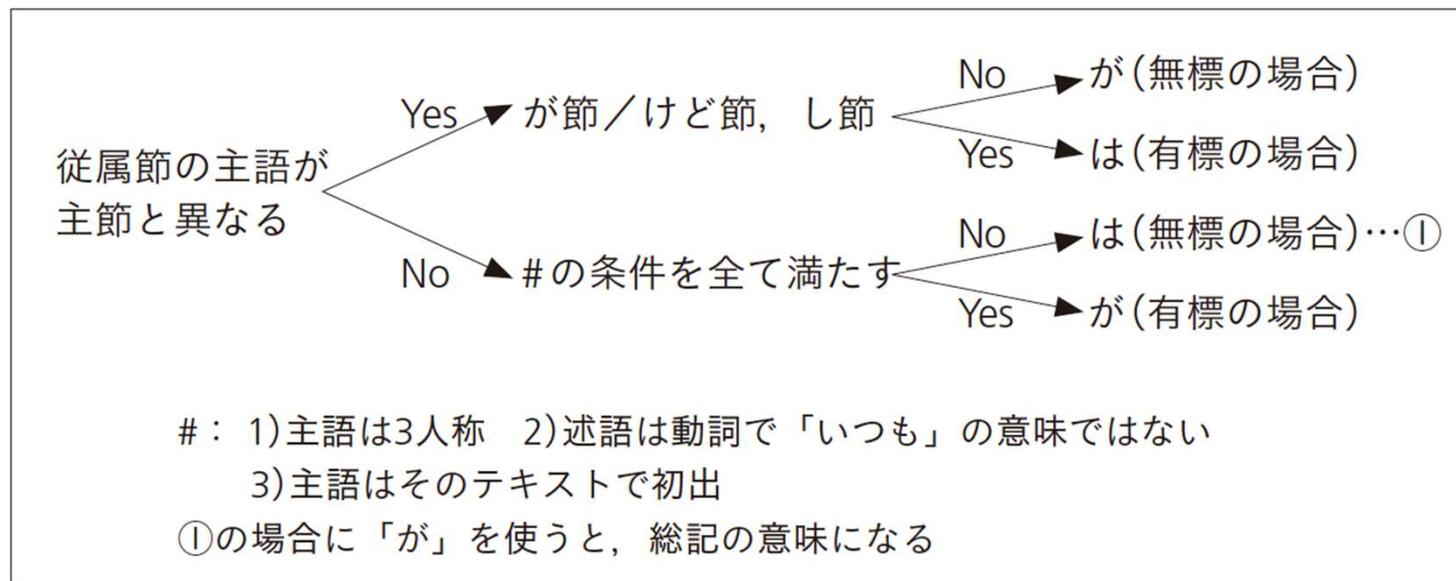


図1 「は」と「が」の使い分けのフローチャート

- 庵功雄(2018)『一歩進んだ日本語文法の教え方2』 p.90より

「は」と「が」の本質的な違い

- 「は」の本務
- (37) 太郎がここに来たとき、私は出かけていた。

- (38) 太郎はここに来たとき、セーターを着ていた。

- は:文末まで係る
- が:従属節で止まる(複文の場合、文末には係らない)
- →「は」の本務(三上1960)

「は」と「が」の本質的な違い

- 「は」の本務(三上1960)
- (38) 太郎はここに来たとき、セーターを着ていた。

- (39) 吾輩は猫である。名前はまだ無い。どこで生れたかとんと見当がつかぬ。何でも薄暗いじめじめした所でニャーニャー泣いていた事だけは記憶している。吾輩はここで始めて人間というものを見た。(夏目漱石「吾輩は猫である」)
- →「吾輩は」は、文末(「猫である」)を越えて、「記憶している」まで係っている(「は」のピリオド越え(三上1960))

参考文献

- 『一歩進んだ日本語文法の教え方2』「第1部 § 9, 10」
(当日配付資料)の参考文献と同じ

ご清聴ありがとうございました